

# 「洞爺湖町人口ビジョン」と「第2期洞爺湖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の全体像

総合戦略(2020(令和2)年度～2024(令和6)年度の5か年)

人口ビジョン  
(2020.3月改訂)

中長期展望  
(2060年まで)

## 【現状】

- 2015年人口9,299人から2060年2,510人まで減少(社人研推計)
- 合計特殊出生率1.25で、近隣市町や全国平均より低い
- 社会減が年平均約70人(2014年～2018年)で、転出超過が続いている

2060年人口の  
将来展望

- 合計特殊出生率を2020年以降1.40を維持しつつ、上昇を目指す(人口置換水準2.07(2040年))
- 段階的に転入者数=転出者数として、2040年に社会増減をゼロにする

●2060年の人口を社人研推計の2,510人から4,524人まで増加させる

2060年の将来展望の実現のために総合戦略による施策を展開

## 理念

地域の魅力を生かした元気産業が生み出す雇用といつまでも住み続けたいと思える生活環境の創造  
特色ある資源を活用した地域づくりと関わりをもつひととの連携

## 基本目標と数値目標

特色ある地域資源を生かした元気産業から雇用創出を図る  
【しごとづくりと働きやすい環境】

≪2024年度まで≫

- 生産年齢人口の増加(生産年齢人口の減少抑制)  
増減見込み  $\Delta 18.9\% \rightarrow \Delta 9.7\%$

美しい環境を生かした新しいひとの流れを創造する  
【ひとの流れづくりとつながりの強化】

≪2024年度まで≫

- 転出超過の解消(転出超過人数の減少)  
転出超過累計 277人  $\rightarrow$  45人
- 観光客入込数  
2,592千人  $\rightarrow$  3,100千人  
(2018年度) (2024年度)

自然豊かなまちの魅力を生かし、結婚・出産・子育ての希望をかなえる  
【出産・子育て・教育支援の充実】

≪2024年度まで≫

- 0歳から18歳人口の減少の抑制  
増減見込み  $\Delta 25.2\% \rightarrow \Delta 11.1\%$

特色のある地域をつくり、安心な暮らしを守るために必要な連携を強化する  
【安心のある暮らしづくり】

≪2024年度まで≫

- 地域活動に参加する住民の増加  
毎年度 58,000人  
(2018年度 58,644人)

## 主な施策

### ①起業・開業を促進

- 企業誘致の支援 ○空き店舗を活用した起業支援

### ②安心して働ける産業の底上げ支援

- 各産業の経営安定等の支援
- 設備投資、未来技術等導入の促進
- 安定した販路の構築 ○地域ブランド、認知度の確立
- 新商品、観光プログラム等の開発支援

### ③多様な人材が活躍できる環境整備、支援の充実

- 外国人等の就業・定住環境の構築・支援(コミュニケーション、住宅、学校、企業への支援、交流など)
- 地元企業への就職促進 ○就業者のスキルアップと人材育成

### ①移住したい、定住したいに配慮

- 移住希望者へのサポート(ワンストップ窓口、空き家バンク、情報提供、移住者等による情報効果の場)
- 住環境の改善支援(住宅リフォーム支援など)

### ②洞爺湖町とのつながりを強化

- ふるさと納税・情報発信を通じた関係の構築
- 大学等と連携した取組の実施
- 都市部の人材・企業等の活用(地域おこし協力隊等)

### ③景観・環境とのつながりを意識した資源の磨き上げ

- 景観、自然環境を意識した取組の推進(意識啓発、環境整備)
- 自然との共生や景観への理解を深める施設等の整備(観光施設、温泉等)
- ジオパーク、縄文遺跡群、洞爺湖芸術館等の活用

### ①出産・子育てに対する支援策の充実

- 出会いの場の創出(イベントの支援等)
- 出産支援(不妊治療費助成、出産祝金支給、精神的負担の軽減等)
- 子育て負担の軽減(相談体制、経済的負担の軽減等)
- 子どもの健康(医療費の無料化、検査・予防接種費用助成等)
- 仕事と子育ての両立支援、子育て活動の支援
- 子ども担当窓口、子育て情報発信の強化

### ②意欲が向上する学びの充実

- 学びの機会(学習、スポーツ、文化等)と学習環境の充実
- 高等学校教育の充実(虻田高校の魅力向上)
- まちの魅力や歴史、職業等を学ぶ機会の創出
- 外国人児童生徒の受入態勢の整備
- 進学希望への支援(通学負担の軽減、奨学金の支給等)

### ①安全・安心な暮らしの実現

- 交通体系の改善
- 防災体制の充実(自主防災組織設立促進、防災資機材等の整備、意識啓発等) ○まちなか環境の整備(道路、照明等)
- 健康づくりや介護予防の推進と安心の医療福祉体制の構築

### ②地域住民のつながりの強化

- 気軽に集える居場所づくり(地域食堂、活動・交流拠点の整備等)
- 町民向けイベントの開催
- コミュニティ、地域等が主体の活動への支援
- サークル活動、地域イベントの周知・情報発信

### ③連携による圏域の魅力と機能の向上

- 他市町村との広域連携の推進

## 重要業績評価指標(KPI)

- ★新規開業事業所数 : 10件(5か年累計)
- ★起業相談件数 : 10件(年間)
- ★平均所得金額 : 5%の上昇(2018年度→2024年度)
- ★外国人人口(15歳-64歳) : 毎年度10人増加
- ★定住促進住宅入居戸数 : 28戸

- ★空き家バンク契約件数 : 12件
- ★移住相談件数 : 45件
- ★ワンストップ窓口利用による移住者数 : 5人
- ★ふるさと納税件数 : 3,000件
- ★SNS等による情報提供 : 投稿回数の増
- ★ジオパーク、縄文、芸術関連施設利用者数 : 138千人
- ★年間宿泊客数 : 70万人

- ★婚姻件数 : 毎年度40件
- ★出生数 : 毎年度43人
- ★経済面での子育て支援 : 9事業
- ★子育て支援策・子育てイベント等の情報提供 : 周知回数の増加
- ★まちの魅力等を学ぶ学習・体験の取組 : 取組の充実(7事業)
- ★虻田高校入学者数 : 毎年度20人以上

- ★コミュニティ交通利用者数 : 毎年度増加
- ★自主防災組織の新設置 : 毎年度2自治会
- ★健康づくり・介護予防事業実施回数 : 年140回開催
- ★自治会加入率 : 75%を維持
- ★活動施設の機能充実 : 2カ所